

## 令和5年度 県立水戸特別支援学校 自己評価表

目指す学校像	テーマ：！？をみつけてチャレンジ 行きたくなる学校 ◆たくさんの選択肢がある学校 ◆安心して失敗できる学校 ◆地域みんながワクワクする学校（コミュニティ・スクール：学校はあるものではなくつくるもの）		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
<b>成果</b> ○ICTの活用においてデジリハやオリヒメ、視線入力等、様々な障害に応じた選択肢を増している。○学校運営協議会にて熟議を重ね、学校を知ってもらう取り組み等、子供も参加しての活動ができた。○eスポーツ部の活動や文化祭を生徒主催で実施する等子供が主体的に取り組む活動を支援できた。 <b>課題</b> ●ICT等たくさんの選択肢を活用し、対話を重視しながら主体的な促しを認める支援や学校の外に出て学ぶ取り組みを進めていく必要がある。	1 学校づくりをアップデートする	① たくさんの選択肢を用意する ・ICTの活用による多様な学び方の推進 ・教師自ら「！？」を見つけともに解決しようとする取組。 ② 安心して失敗できる環境作り ・一人一人の状況に応じたきめ細やかな支援 ・主体的な行動を促し認める支援 ・挑戦する人を応援する支援 ③ 地域とともにつくる学校、地域社会 ・コミュニティ・スクールの取組 ・学校の外に出て「！？」を見つける取組 ・関係機関と積極的に情報を共有する取組 ・地域みんなと共に学ぶ取組（交流等）	C
	2 学び方改革を推進する	④ 積極的な情報発信 ・OUTPUTを積極的に取り入れる ⑤ 社会とつながりながら体験を中心とした活動の充実 ・小学部からのキャリア教育の充実 ⑥ 「！？」から始まる学習スタイルへ ・自ら課題を発見し、解決に向けて学ぶスタイルを推進する。	B
	3 教師の在り方をアップデートする	⑦ 子供の心に火を付ける取組 ・対話を重視した子供の「！？」を大切にする取組 ⑧ 学び続ける教師 ・自己研鑽の時間の確保（自主的勉強会の推進） ・職員室の外に出て学ぶことを推奨	B
	4 働き方改革を推進する	⑨ プロジェクトチームによる実践 ・幸せに働ける心理的安全性のある職場環境作り ⑩ コンプライアンスの遵守、当事者意識の涵養 ・ワーキンググループによるボトムアップ研修 ・業務の抜本的な見直し	B

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない

評価項目	具体的目標	具体的方策	重点目標との関連	評価	成果(○) 課題(●)及び次年度(学期)への改善策(◇)
学校経営 管理 教育計画	最上位の目的・目標を 了解した、安心・安全 な環境づくり	○校内研修で「対話」を取り上げ、研修。 ○対話による最上位の目的や目標の合意（相談・雑談・ チャット等） ○最上位目標を合意の上の安心・安全を前提とした、業 務の実施。 ○自分から自分らしく自分なりに学べる（学び方が身に つく）環境づくり。（授業を子供が主語で自ら課題を 見つけて解決するスタイルへ）	① ② ⑨ ⑩	B	○「対話」をテーマにした研修を実施したり、意図 的に職員同士が対話する時間を設定したりする 等、「対話」を大切にしようとする意識が高まった。 併せて児童生徒と対話する時間も大切にしてく てきた。 ○●各部、各分掌部において「子どもを主語に」を 前提にした経営を行い、児童生徒の考えや気持ち を引き出しながら、安心・安全な環境作りに努め てきた。今後は、更に子どもを主語にした授業づ くり等を模索し、実践につなげる必要がある。 ●◇自ら課題を見つけ、解決することが難しい児童 生徒の学び方、教師の支援の在り方等を研修し、 学びに関する選択肢が増えるよう環境を整える。
教職員の 育成及び 指導・監督	学び続けるイメージの 共有と意識の涵養	○学校運営協議会による人材活用（つながり）。 ○classroom等に研修情報の提供（動画等の掲載、研修 案内）。 ○雑談や校内研修等を活用し、本質についての対話の機 会を設ける。	⑥ ⑦ ⑧	B	○外部講師や学校運営協議会委員、大学生ボラン ティアのつながりから、職員研修や実習、出前授業 等を実施し、職員、児童生徒等の学びを深めるこ とができた。 ○classroomを活用して、研修資料を定期的に周知 したり、臨時ウェブサイト等に動画を掲載したり して情報の共有、周知ができた。 ●◇地域の人材の情報収集に努め、職員の研修や児 童生徒の学習につなげるとともに、保護者等へ研 修情報を提供する。
対外活動	保護者や地域の方とみ んなで学校づくりをす るイメージの共有と当 事者意識の涵養	○学校運営協議会にて学校をつくることについて熟議 し、人材活用（つながり）について、校内の推進委員 会にて具現化していく。 ○ホームページ等で学校の取り組みをアウトプット。	③ ④ ⑤	B	○「学校はみんなで作るもの」というイメージの 共有を図ってきた。各部とも、地域とのつながり を意識し、校外での体験的な学習に取り組んだ。 ○学校運営協議会委員の方々との熟議〈対話〉をと おして出た意見等から、校内の推進委員が中心に なって、具体的に学習活動を計画し、該当する学 部へつなげることができた。 ○◇ブログ等により、積極的に情報発信ができた が、掲載内容の幅を広げていきたい。 ●◇学校運営協議会での様子を職員、児童生徒、保 護者に周知し、みんなが学校をつくる当事者であ ることの意識を高める。